

第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子(案)

2019年におけるわが国全体の合計特殊出生率は1.36となりました。本市においても前年から0.06ポイント減少の1.47となり、少子化の波はとどまることを知りません。少子高齢化、人口減少の進行は、経済活動の衰弱や生活水準の低下を招くなど市民生活に多大な影響を及ぼすこととなります。このため、人口減少問題は、本市の持続可能性を脅かす最重要課題であると認識し、その緩和と適応に向けた様々な事業を展開してまいります。なお、社会動態や出生数の現況に鑑み、とりわけ若者、女性に力点を置いた4つの個別戦略を掲げることとします。

また、その推進にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大によって社会全体に求められている「新しい生活様式」への適応や、Society5.0の実現といった近未来技術の活用、さらには、国連が提唱する持続可能な開発目標SDGsの目標達成など、新たな時代の流れをしっかりとらえてまいります。

4つの個別戦略

1 活きみなぎる『しごとづくり』

【基本目標】

地域の力を結集し、地域産業の活性化に向け、魅力的な働く場の創出や新たな投資を生み出す好循環を確立します。

特に注力！

- ✓ “若者”や“女性”が働きたくなる仕事の創出
- ✓ 地元が誇る技術の伝承と新しい技術の導入

【施策の基本方針】

- 人材力の強化と事業継承への支援
- 新産業の創出と経営革新
- 産業の魅力発信と誘致

2 選ばれ集う『ひとの流れづくり』

【基本目標】

仕事や暮らしの魅力をまち全体で育むとともに広く発信し、地域内外の多様な人たちが選り集うまちを形成します。

特に注力！

- ✓若い世代を惹きつけるまちの魅力創造
- ✓まちなかエリアへの人の呼び込み

【施策の基本方針】

- 定住都市の推進
- 交流・関係人口の拡大
- 移住の促進

3 笑顔あふれる『子育て・教育づくり』

【基本目標】

結婚、出産、子育てへの希望を社会全体でかなえるとともに、一人ひとりにあわせた質の高い教育を充実します。

特に注力！

- ✓子育てと仕事を両立できる環境づくり
- ✓子どもたちの「学びたい」をかなえるための環境づくり

【施策の基本方針】

- 結婚から出産、子育てまでの包括的支援
- 働きながら子育てしやすい環境づくり
- 質の高い教育

4 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

【基本目標】

社会基盤の整備と再編による、環境に配慮した効率的な都市経営を行うとともに、安心して暮らすことのできるまちを形成します。

特に注力！

- ✓利便性の高い移動環境の創出
- ✓再生可能エネルギー利用100%のまちづくり

【施策の基本方針】

- 便利で快適に暮らせるまちの形成
- 既存社会資本ストックの運用
- 暮らしの安全・安心の確保
- 自立循環型社会の形成